公害特集号

狛江町広報

第130号　発行　昭和45年8月8日　狛江町役場

光化学スモッグ

風のない晴れた日に発生

光化学スモッグは、七月十八日都内に初めて発生して以来新しい公害として注目されるようになりました。

ところで、光化学スモッグはどうしておこるのか。それは自動車の排気ガスなどに含まれる窒素酸化物、炭化水素が強い紫外線にあたって光化学的反応をおこして生成するオキシダントという刺激性の強い物質によっておこります。

この光化学スモッグは、風のない晴れた日に発生します。また、都内では郊外地で発生する可能性が高いといわれています。

カンバンや広報車でお知らせします

東京都では、晴天で風のない日（風速三メートル以下）で、オゾン濃度が基準以上になった場合に光化学スモッグ注意報、警報を発令します。これは新聞、ラジオ、テレビなどで報道され、町にも電話によって連絡があります。町としては、これによって役場、消防署、小田急線狛江駅　和泉多摩川駅に注意報、警報のカンバンをだします。さらに各学校、保育園、幼稚園などに連絡するとともに消防署といっしょに広報車で巡回してお知らせします。

症状を感じたら保健所へ

光化学スモッグが発生して目などに刺激を感じた人は、武蔵調布保健所（電話〇四二四－八四－二一二三）へ連絡してください。

注意報、警報がでたら

◆**注意報**（オゾン濃度が〇・一五ＰＰＭ以上の場合に発令されます）

❶目などに刺激を感じた人は、洗眼し、保健所へ連絡すること。❷各学校、幼稚園、保育園は、屋外運動をやめて屋内に避難すること。❸なるべく屋外に出ないようにすること。❹不用不急の車を運行しないこと。❺なるべく車の使用をさけ、電車などを使用すること。

◆**警報**（オゾン濃度が〇・三ＰＰＭ以上の場合に発令されます）

❶目などに刺激を感じた人は、洗眼し、保健所に連絡すること。❷屋外になるべく出ないようにすること。❸なるべく自動車を運行しないこと。❹自家用車はなるべく相乗りすること。